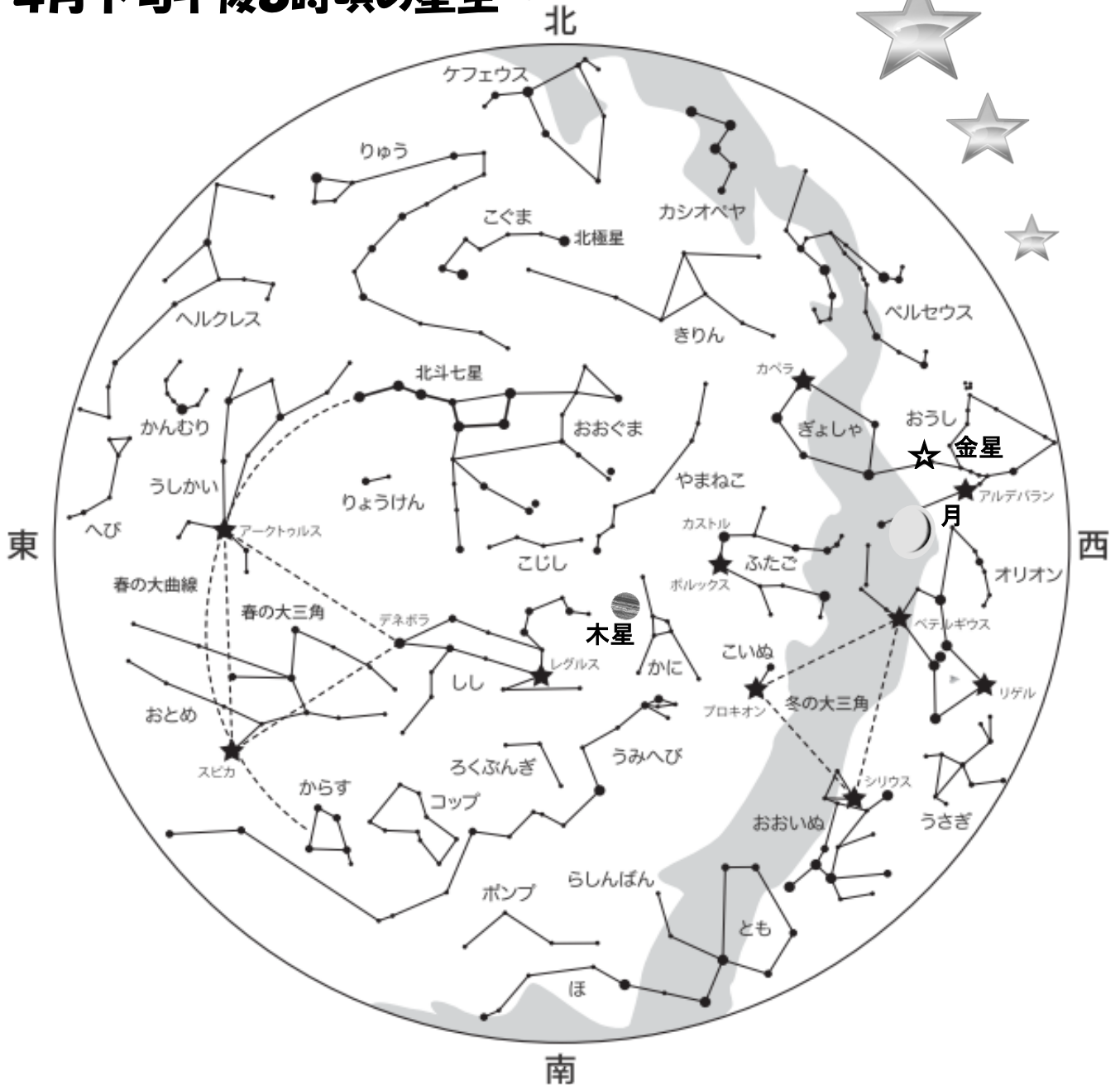


# 松江市立天文台～4月の天文教室～

平成27年4月22日

## 4月下旬午後8時頃の星空～



春真っ盛りで、夜も寒さが気にならない季節になりました。4月は春がすみや黄砂のために星が見えにくいのが残念ですが、大気は安定しているので、月や惑星を見るには適しています。今夜は、月や金星、木星を観察する予定です。

また、今夜は午後8時過ぎに、国際宇宙ステーションが上空を通過するのを見ることができます。

4月下旬午後8時頃の星空です。

月、金星、木星の位置は4月22日現在のものです。

各天体の見かけの大きさは強調してあります。

この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

## 今夜の月

今夜の月は月齢3、とても細い月ですが、よく見ると月の影の部分も見えるのが分かります。これは「地球照」といって、地球の光に照らされて見えている姿です。

「地球照」は新月の前後4日程度見ることができます。



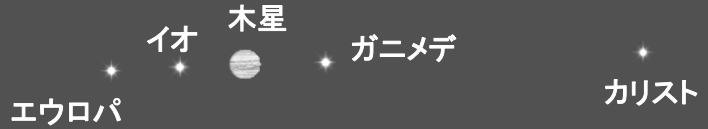
## 木星

木星は、太陽系最大の惑星で、その直径は地球の約11倍、質量は約318倍もあります。

小型の天体望遠鏡でも表面のしま模様や、4大衛星(ガリレオ衛星)を観察できます。

4大衛星のひとつイオでは、火山活動が確認されるなど、今でも新しい発見が続いています。

小型天体望遠鏡で見た木星



## りょうけん座

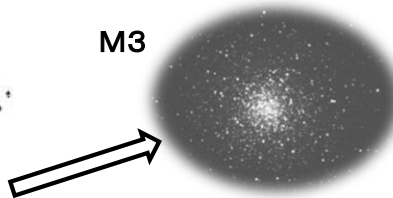


りょうけん座は、17世紀のポーランドの天文学者ヘベリウスが創設した星座です。

明るい星が無いので見つけにくいのですが、うしかい座のアークトゥルスと北斗七星の中間にα星のコルカロリがあります。

この星は2.9等と5.6等からなる二重星で、小型の天体望遠鏡でも二つの星の明るさや色の対比が楽しめます。

M3



M(メシエ)3は、りょうけん座にある代表的な球状星団のひとつです。

空の暗い場所では、双眼鏡でも見つける事ができ、天体望遠鏡ではたくさんの星の集まりであることが分かります。

## 国際宇宙ステーションを見よう

松江では、今夜、明日の夜ともに国際宇宙ステーションが好条件で見られます。

ちなみに5月からは日本人宇宙飛行士、油井亀美也(ゆい きみや)さんの長期滞在が決まっています。

時刻 方角 高度

	時刻	方角	高度
4月22日	見え始め	20:07:30	北西 13°
	最大高度	20:10:30	南南西 66°
	見え終わり	20:11:00	南南東 51°
4月23日	見え始め	19:13:30	北西 11°
	最大高度	19:16:30	北東 52°
	見え終わり	19:19:30	東南東 11°

資料のデータは天文年鑑、アストロアーツから引用しています。  
使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。  
また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

## 次回の天文教室

開催日 5月27日(水) 20時から21時まで  
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)  
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club  
松江星の会